

第159期

日東紡 株主通信

2019年4月1日 ～ 2020年3月31日

- ◆ 株主の皆様へ
- ◆ 中期経営計画の進捗
- ◆ 事業紹介
- ◆ トピックス
- ◆ こんなところに日東紡!
- ◆ 財務ハイライト(連結)
- ◆ 財務諸表(連結)



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に衷心よりお見舞い申し上げます。

ここに当社グループ第159期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の業績をご報告いたします。

中期経営計画の3年目である第159期は、将来への成長に向けた基盤強化投資としてスペシャルガラスの新溶融炉の増設を行い、その投資効果が下期より発現いたしました。中期経営計画の最終年となる第160期は、新溶融炉を安定操業させて通年で業績に寄与させるとともに、旺盛なスペシャルガラスの需要に対応すべく今年度下期より順次立ち上げる国内3拠点の新溶融炉の建設を計画通り遂行してまいります。

株主の皆様には引き続き倍旧のご支援とご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。



取締役 代表執行役社長

谷 裕 一

≫ 2020年3月期業績

2020年3月期におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いたものの製造業の企業収益や生産に減速感がみられ、世界経済も米中貿易摩擦や中国経済の減速、英国のEU離脱問題等から減速傾向が継続する中、第4四半期連結会計期間には新型コロナウイルス感染症の拡大により世界経済が甚大な影響を受け、先行きは不透明さが増しております。

このような環境の下、当社グループは『中期経営計画《Go for Next 100》』に基づき、中長期で持続的な成長を実現するために高付加価値品へのシフトを進めるべくスペシャルガラスの生産設備を順次計画通り立ち上げ、人材投資、研究開発も積極的に実施いたしました。

この結果、連結売上高は85,722百万円（前期比4.2%の増収）、営業利益は8,160百万円（前期比0.5%の減益）、経常利益は8,202百万円（前期比8.2%の減益）、親会社株主に帰属する当期純利益は5,771百万円（前期比27.7%の減益）になりました。

≫ 新型コロナウイルスに対する取り組み

当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大を受け、従業員ならびにお取引先の安全確保を最優先とし、早期より対策を講じてまいりました。

3月初頭より東京本部・大阪支店・都市部の営業所等に勤務する者は原則在宅勤務とし、全国の工場、子会社においてもマスク着用やアルコール消毒を徹底し、感染防止に注力してまいりました。また、4月1日付けで代表執行役社長を本部長とする「新型コロナウイルスに関する対策本部」を設置し、グループ全体の感染予防体制の一層の強化を図ってまいりました。

現時点で、日東紡グループ各工場の操業、デリバリーの状況は新型コロナウイルス発生前とほぼ変更ありません。

≫ 財務状況

当社グループはリーマンショック以降、いかなる環境下でも事業を安定的に継続できる財務体質の構築に取り組んでまいりました。また、金融機関との間で100億円のコミットメントライン契約を締結しており、資金調達余力を有しております。今後とも、金融機関との良好な関係を維持し、手元資金流動性と資金調達力を確保してまいります。

≫ ポスト・コロナショックへの対応

今般の新型コロナウイルス感染拡大は、人々の行動様式や社会構造に大きな変動をもたらし、感染拡大が収束した後でも変革が加速していくものと思われます。

在宅ワークの浸透や移動の制限は、次世代高速通信規格である5Gの進展を加速させ、通信インフラやPC・スマートフォン等のデバイスの一層の高度化・高速化が進行することが予測されます。日東紡グループの独自製品であるスペシャルガラスは高速大容量通信に資する電子材料用基材であり、今後とも需要の拡大が見込まれます。

また、「治療から未病へ」という病気に罹る前に予防・診断を強化する流れに対しても、日東紡グループが提供する体外診断用医薬品がその一助となります。

日東紡グループの経営理念である『健康・快適な生活文化を創造する企業集団として、豊かな社会の実現に貢献する』を実践し、企業としての社会的責任を果たすべく事業継続に取り組んでまいります。

中期経営計画の進捗

≫ 中期経営計画の進捗と今期の取り組み

2019年度までの3年間の取り組みにより、新型コロナウイルス感染拡大の影響がなければ、中期経営計画の目標である営業利益120億円を達成できる基盤を整えることができたと考えております。

当社グループの強みであるスペシャルガラスおよび体外診断薬の一層の強化を進めていく方針に変更はありません。ポスト・コロナショックの社会変革を見据えると、引き続き、当社グループのビジネスが社会に大きく貢献できると考えており、我々の強みを一層強くしていくことを主眼とする中期経営計画、そして2023年度をターゲットとする「長期ビジョン101」の方向性に変更はありません。

2020年度は次期中期経営計画を策定していきますが、10年・20年先を見据え、当社グループの強みをより一層強固なものにする方策と、汎用品ゾーンが中心となる事業の改革を主軸に新たな中期経営計画を立案してまいります。

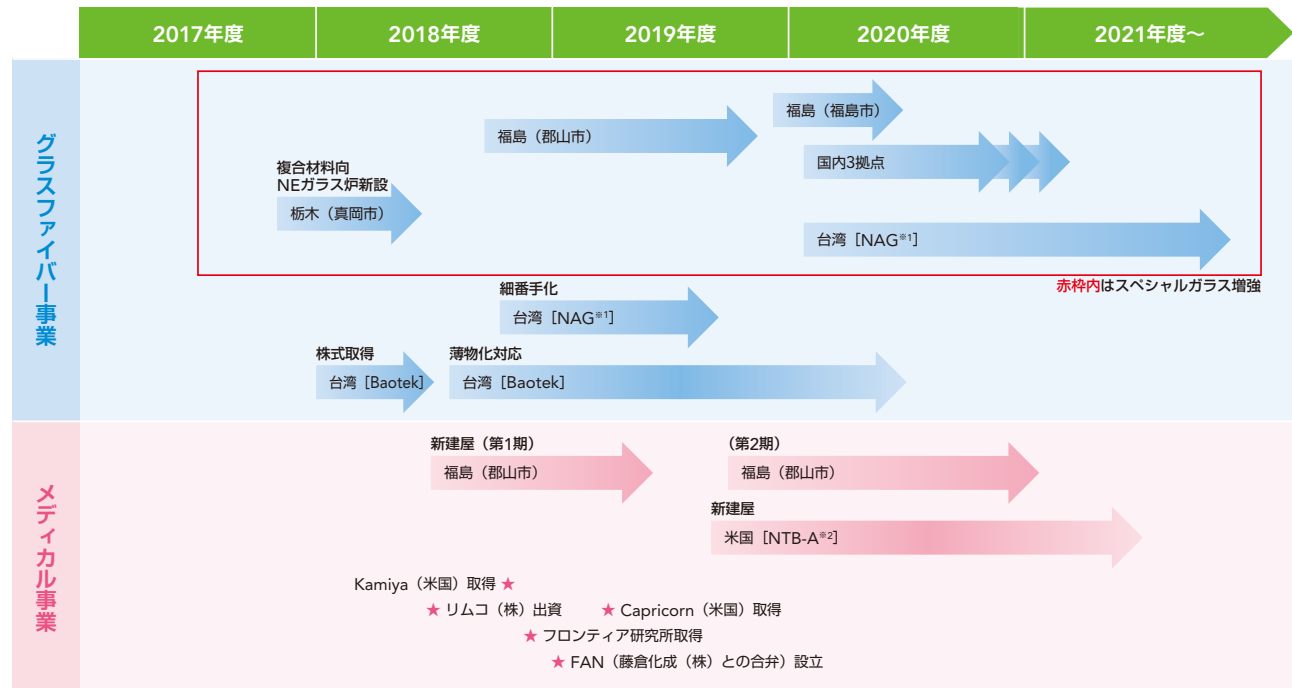
経営基本方針	進捗・成果	今後の取り組み
グラスファイバー事業 製品の高付加価値化を推進し、ガラス繊維業界のリーダーとしての地位を確立	■スペシャルガラス（ヤーン）の生産能力増強 ・旺盛な需要に応え既存拠点の生産能力増強 →2019年度下期より業績寄与 ・更なる需要増に応えるべく国内外拠点の生産能力増強の意思決定 ■クロスの生産能力の増強 ・高付加価値ガラスクロス →福島第2工場の高付加価値比率の増加 ・Baotekの株式取得 →汎用品の生産能力の確保	■スペシャルガラス（ヤーン）の生産能力の更なる増強 ・2020年度より通年で業績寄与、更なる効率化 ・国内拠点の新溶融炉は2020年度下期より順次稼働 ・台湾新工場は2021年度下期より稼働 ■クロスの高付加価値化 ・福島第2工場の高付加価値化 →汎用品のBaotekへの移管 ・Baotekの高付加価値化 →スペシャルガラスクロスの生産開始
ライフサイエンス事業 Self Medicationに資する高品質の体外診断薬を供給	■高付加価値 新製品の上市 ・N-アッセイ LA IgG4 ニットーボー →血清中のIgG4を測定する診断薬の販売開始 ・N-アッセイ LA CRP-U ニットーボー →低濃度域性能を改善した測定試薬の販売開始 ■M&Aの推進 ・海外販売網・薬事承認ノウハウ、研究・生産能力の強化	■販売トップシェアの更なる拡大 ・国内外営業体制の強化 ■生産リソースの育成 ・販売増に備えた生産能力の増強 →国内・米国生産拠点の拡充
繊維事業 高機能化を推進し、稼げる事業へ変革	■高機能化の推進 ・機能性・環境配慮製品の展開 ■海外拠点の譲渡 ・日東紡（中国）を中国現地企業へ譲渡 ・国内拠点の生産効率改善	■非ファッション分野への進出 ・グラスファイバー事業とのコラボによる販売推進 ■事業運営の効率化 ・国内拠点の生産性・コストダウンの更なる推進

≫ 主な投資案件

今中期経営計画の4年間は、更なる成長に向けた将来への種まきの時期、明日への土台を築く期間と考えています。2019年度までにM&Aを含め約400億円の設備投資を行いました。当社グループの強みである高付加価値品の生産能力増強を主眼としたもので、2019年度下期よりこれらの投資効果が発現しております。

グラスファイバー事業においては、福島市（稼働予定：2020年度下期）および台湾（同：2021年度下期）でスペシャルガラスの生産設備増強に取り組んでおりますが、想定以上にスペシャルガラスの需要が増加しているため、旺盛な需要に応えるべく国内既存工場内に更なる溶融炉の新設・増強を行うことといたしました。

2020年秋以降の国内既存工場の新溶融炉および2021年秋以降の台湾の新工場が稼働した段階で、スペシャルガラス（ヤーン）の生産キャパシティは2020年3月末に比して約70%の増加となります。

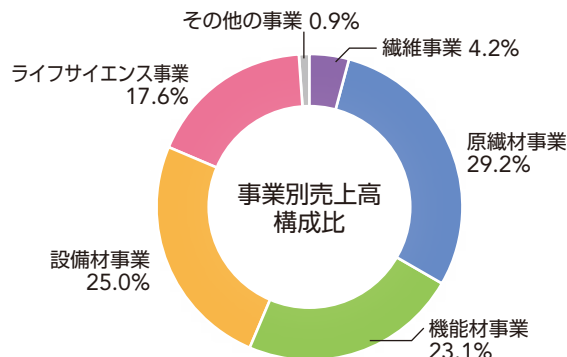


※1 NITTOBO ASIA Glass Fiber Co., Ltd. ※2 Nittobo America Inc.

当期 事業セグメント別業績

事業セグメント別の売上構成比は右グラフの通りです。

また、当期の事業セグメント別の売上高、営業利益は以下の通りです。



繊維事業

繊維事業では、日東紡（中国）有限公司の持分譲渡や市況の低迷により売上高は減少しましたが、値上げの浸透や中国から日本への生産移管により損益が改善しました。

	売上高	営業利益
2020年3月期 (2019.4.1～2020.3.31)	3,616	△221
2019年3月期 (2018.4.1～2019.3.31)	4,862	△373

(百万円)

原繊維事業

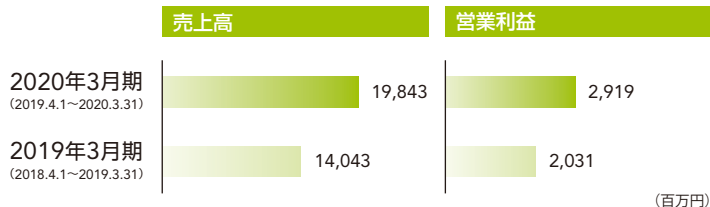
原繊維事業では、スペシャルガラス新溶融炉立ち上げによる収益貢献がありましたが、汎用品の市況低迷や災害などの影響により収益が悪化しました。

	売上高	営業利益
2020年3月期 (2019.4.1～2020.3.31)	25,017	3,091
2019年3月期 (2018.4.1～2019.3.31)	26,442	3,937

(百万円)

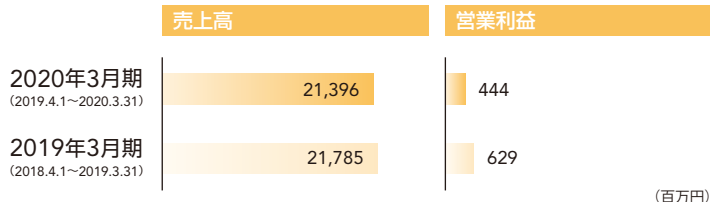
機能材事業

機能材事業では、電子材料向けスペシャルガラスの需要が堅調で収益増加となりました。また、Baotek Industrial Materials Ltd.が連結子会社となり売上高が増加しました。



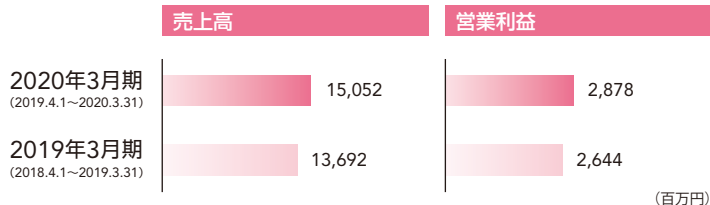
設備材事業

設備材事業では、設備・建設資材向けガラスクロスおよび住宅向け断熱材の販売減に加え、設備投資に伴う減価償却費の増加等により収益が悪化しました。



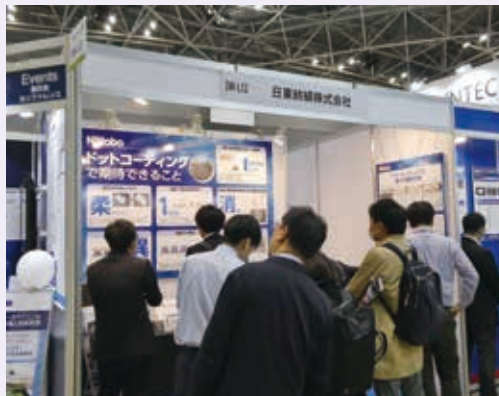
ライフサイエンス事業

ライフサイエンス事業では、免疫系体外診断薬を中心に国内、海外向けの販売に注力し販売が堅調に推移しました。



繊維事業

● コンバーティングテクノロジー総合展2020に出展



2020年1月29～31日に東京ビッグサイトにて開催された「コンバーティングテクノロジー総合展2020」に初めて出展しました。本展示会は、フィルム・シート、金属箔、紙・板紙、不織布、合成紙などのウェブ・シート素材を加工する技術と材料、装置に関する企業が一堂に集まる総合展示会です。

繊維事業では、衣料用途以外への事業展開を進めており、接着芯地の基幹技術である「ドットコーティング加工」をさまざまな業種へアピールしました。3日間で400名以上の来場者が当社ブースを訪れ、大盛況のうちに幕を閉じました。

今後、さまざまな業種で当社の技術が活用されるよう、技術開発や用途展開に取り組んでいきます。

グラスファイバー 原織材事業

● 台湾で新工場の起工式を行いました

2020年2月21日に台湾のNITTOBO ASIA Glass Fiber Co., Ltd. で新工場の起工式を執り行いました。当日は、現地の翁嘉義縣長や林經濟部工業局南区工業管理所執行長をはじめ、多くの関係者にご列席いただき、新工場建設の安全を祈願しました。

次世代通信規格5Gの本格運用を控え情報トラフィックが拡大し、日東紡のスペシャルガラスへの需要が増大しているため、電子材料の集積地である台湾に新工場を建設します。

2021年秋の稼働を目指し、安全を最優先に建設を進めていきます。



ライフサイエンス事業

●ニッポーメディカルが低濃度域性能を改善したCRP測定試薬を販売開始



ニッポーメディカルは、低濃度域のC反応性蛋白（CRP）を測定することができる体外診断用医薬品「N-アッセイ LA CRP-U ニッポー」の販売を2019年12月2日より開始しました。

近年では血中CRPの低濃度域変化が新生児感染症や心筋梗塞などの心血管系の疾患と関連があると報告されており、低濃度のCRPを測定できる高感度のCRP測定試薬が必要とされています。

今般発売した「N-アッセイ LA CRP-U ニッポー」は、CRPの測定範囲が0.005～40mg/dLとなり、従来品に比べて低濃度域の測定感度が改善し、低域から高域まで広範囲の測定を正確に行うことが可能となります。

ESGトピックス

●交通安全運動

ニッポービレレッジでは、2015年より交通安全運動時にペットボトル飲料を提供してきました。その活動を称えられ、黒東交通安全協会総会において交通安全協力者感謝状をいただきました。

今後も、地域の交通安全の一助とされるよう活動を続けていきます。



暮らしと社会を支える 縁の下のチカラ持ち。

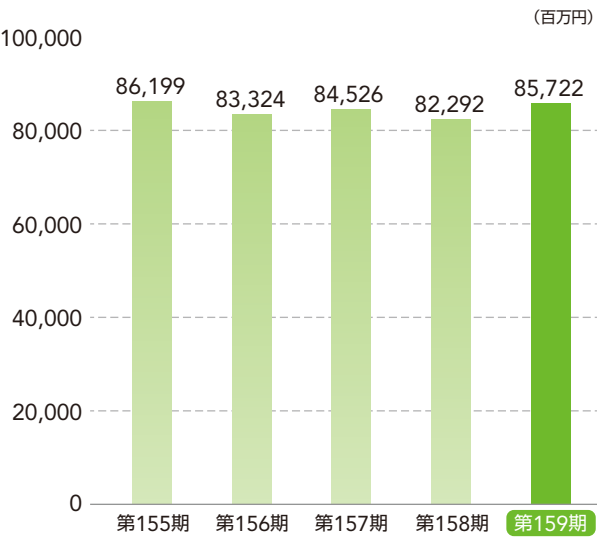
毎日使う身近なものから産業インフラまで、
日東紡グループの製品は、
街中の至るところで使用されています。
生活をもっと便利にするために。
安心をもっと強固にするために。
日東紡グループの製品は、今日も見えないところで
皆さまの暮らしと社会をチカラ強く支えています。

- 繊維事業
- 原織材事業
- 機能材事業
- 設備材事業
- ライフサイエンス事業

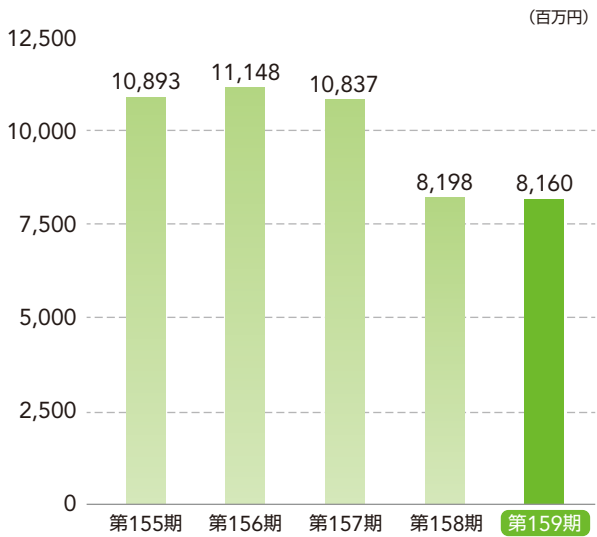




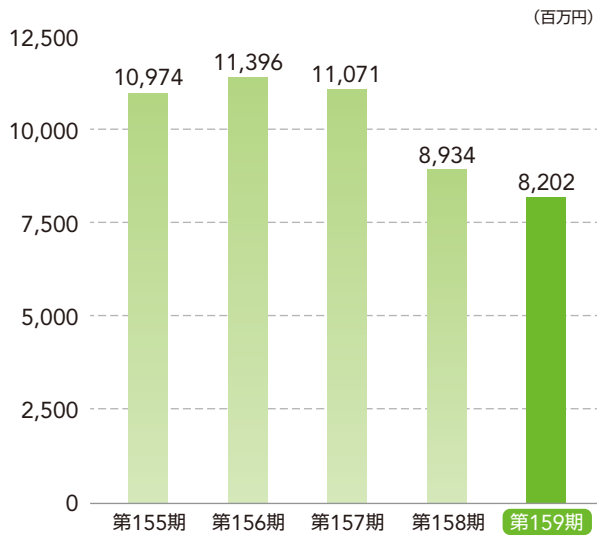
売上高



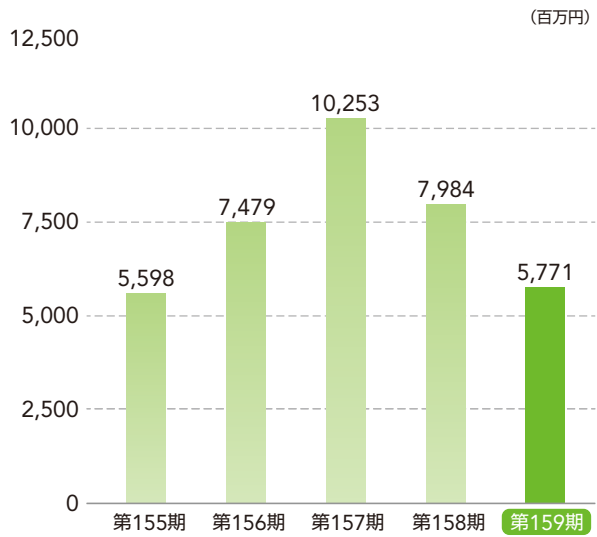
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



連結貸借対照表（要旨）

（百万円）

科 目	当期末 2020年3月31日	前期末 2019年3月31日
（資産の部）		
流動資産	80,899	72,674
現金及び預金	22,874	16,145
受取手形及び売掛金	25,164	25,353
たな卸資産	29,365	28,586
その他	3,494	2,588
固定資産	91,925	78,326
有形固定資産	63,292	47,523
建物及び構築物	15,851	12,246
機械装置及び運搬具	22,935	13,400
土地	15,512	12,595
その他	8,993	9,280
無形固定資産	2,705	1,680
投資その他の資産	25,927	29,122
投資有価証券	21,404	24,757
その他	4,523	4,364
資産合計	172,824	151,000

（百万円）

科 目	当期末 2020年3月31日	前期末 2019年3月31日
（負債の部）		
流動負債	29,808	32,066
支払手形及び買掛金	6,290	9,415
短期借入金及び 1年内返済予定の長期借入金	12,855	12,998
その他	10,662	9,652
固定負債	44,311	28,193
社債及び長期借入金	24,975	9,696
退職給付に係る負債	9,887	9,805
その他	9,449	8,691
負債合計	74,120	60,259
（純資産の部）		
株主資本	91,757	87,633
資本金	19,699	19,699
資本剰余金	19,037	19,037
利益剰余金	55,574	51,440
自己株式	△2,554	△2,544
その他の包括利益累計額	1,897	2,079
その他有価証券評価差額金	3,998	3,542
為替換算調整勘定	117	429
退職給付に係る調整累計額	△2,219	△1,892
非支配株主持分	5,049	1,027
純資産合計	98,704	90,740
負債純資産合計	172,824	151,000

連結損益計算書（要旨）

（百万円）

科 目	当期 2019年4月 1 日～ 2020年3月31日	前期 2018年4月 1 日～ 2019年3月31日
売上高	85,722	82,292
売上原価	57,628	54,632
売上総利益	28,094	27,660
販売費及び一般管理費	19,933	19,461
営業利益	8,160	8,198
営業外収益	999	1,454
営業外費用	957	718
経常利益	8,202	8,934
特別利益	2,280	2,779
特別損失	2,890	1,883
税金等調整前当期純利益	7,592	9,830
法人税等	1,651	1,812
当期純利益	5,941	8,017
非支配株主に帰属する当期純利益	170	33
親会社株主に帰属する当期純利益	5,771	7,984

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（百万円）

科 目	当期 2019年4月 1 日～ 2020年3月31日	前期 2018年4月 1 日～ 2019年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,614	5,317
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,917	△11,389
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,628	3,948
現金及び現金同等物に係る換算差額	71	△55
現金及び現金同等物の増減額 （△は減少）	6,398	△2,178
現金及び現金同等物の期首残高	16,145	18,324
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額	152	—
現金及び現金同等物の期末残高	22,695	16,145

企業詳細

社名	日東紡（登記名：日東紡績株式会社）
本店所在地	福島県福島市郷野目字東1番地
本部所在地	〒102-8489 東京都千代田区麹町二丁目4番地1
創業年月日	明治31年 2月 郡山絹糸紡績株式会社（郡山）設立 大正 7年 4月 福島精練製糸株式会社（福島）設立 大正12年 4月 日東紡績株式会社創立
資本金	196億円
従業員	（連結）2,690名 （単体）830名（2020年3月31日現在）
ホームページ	https://www.nittobo.co.jp

主な営業所・工場・研究所等

大阪支店	〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋4-3-10 （日生伏見町ビル新館）
名古屋支店	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-14-21 （円山ニッセイビル）
福島工場	〒960-8581 福島県福島市郷野目字東1
福島第2工場	〒960-2154 福島県福島市佐倉下一本杉20
富久山事業センター	〒963-8061 福島県郡山市富久山町福原字塩島1
新潟事業センター	〒950-0065 新潟県新潟市東区東新町6-50
泊事業センター	〒939-0744 富山県下新川郡朝日町平柳500
伊丹生産センター	〒664-8501 兵庫県伊丹市桑津1-6-1
ファイバー研究開発センター（福島工場内）	
メディカル研究開発センター（富久山事業センター内）	
サテライトラボ NI-Tech	〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-14 （ナノ医療イノベーションセンター3階3108号室）

連結子会社

（2020年3月31日現在）

（株）日東紡インターライニング	ニッターボー新潟（株）
日東グラスファイバー工業（株）	富士ファイバーグラス（株）
日東グラステックス（株）	NITTOBO ASIA Glass Fiber Co., Ltd.
Baotek Industrial Materials Ltd.	（株）双洋
（株）日東紡テクノ	パラマウント硝子工業（株）
ニッターボーメディカル（株）	Nittobo America Inc.
ニッタービバレッジ（株）	日東紡エコロジー（株）

その他9社

取締役

（2020年6月25日現在）

取 締 役	辻 裕 一
取 締 役	西 坂 豊 志
取 締 役	野 崎 有
社 外 取 締 役	尾 内 正 道
社 外 取 締 役	藤 重 貞 慶
社 外 取 締 役	影 近 博
社 外 取 締 役	内 藤 亜 雅 沙

執行役

（2020年6月25日現在）

代 表 執 行 役 社 長	辻 裕 一※
常 務 執 行 役	竹 内 実
常 務 執 行 役	多 田 弘 行
常 務 執 行 役	五十嵐 和 彦
常 務 執 行 役	畑 中 英 之
執 行 役	榮 達 雄
執 行 役	松 永 隆 延
執 行 役	須 釜 裕 司
執 行 役	梶 田 明 正
執 行 役	梶 川 浩 希
執 行 役	林 寿 信
執 行 役	畑 中 克 哉

※は取締役兼務

技 監

（2020年6月25日現在）

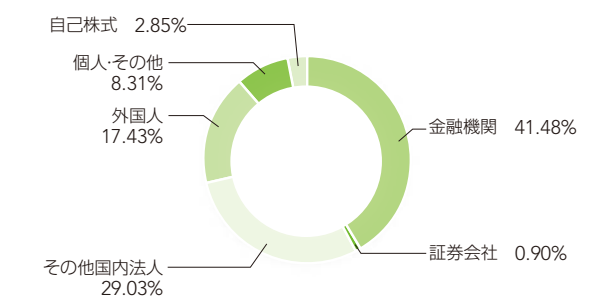
上 席 技 監	前 山 茂
技 監	今 野 敏 裕
技 監	石 原 英 幹

株式情報

株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行済株式総数	39,935,512株
株主数	7,833名

所有者別分布状況 (2020年3月31日現在)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月下旬	
基準日	定時株主総会の議決権 期末配当金 中間配当金	毎年3月31日 毎年3月31日 毎年9月30日
公告方法	当社ウェブサイト内の下記アドレスに掲載します。 https://www.nittobo.co.jp/ ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
上場取引所	東京証券取引所市場第1部（証券コード3110）	
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社	
郵便物送付先 電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝休日を除く9：00～17：00)	

※詳細は当社のホームページ (<https://www.nittobo.co.jp/>) をご参照ください。

日東紡績株式会社

東京本部 〒102-8489 東京都千代田区麹町二丁目4番地1

大株主 (2020年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,076	7.93
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,789	7.19
住友不動産株式会社	2,383	6.14
日本生命保険相互会社	1,614	4.16
第一生命保険株式会社	1,316	3.39
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,279	3.30
ユニソホールディングス株式会社	1,113	2.87
住友生命保険相互会社	1,082	2.79
エア・ウォーター株式会社	997	2.57
セントラル硝子株式会社	948	2.44

※持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

株式事務に関するご案内

お問合せ内容	お問合せ先
支払期間経過後の配当金について	みずほ信託銀行株式会社 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝休日を除く9：00～17：00)
氏名・住所変更等	口座を開設されている証券会社等 ※口座を開設されていない方は、上記 みずほ信託銀行株式会社
配当金受領方法の変更	

※特別口座では、単元未満株式以外の売却を行うことはできません。
また、単元株式を売却するには、証券会社にお取引口座を開設し、特別口座から株式を振り替えるお手続きが必要です。